

あんどくりすの防災四季だより

第10回 放送日：2019.6.7（金）

パーソナリティ：あんどくりす

テーマ：続・豪雨対策



「命を守る」という大切なことに役立つのは、
アウトドアのスキル。

阪神大震災を被災した「あんどくりす」さんが、
防災・減災の方法を楽しく導きます。

防災情報が入っても、
なかなか避難できない日本人。

逃げるタイミングを逃さないように、
マイ・タイムラインシートを作りましょう。



ふりかえり

豪雨対策の続きのお話です。

先週は、
「雨雲レーダーアプリ」の話や、
「Yahoo! の河川水位情報」、
「1時間に100mmの雨は大災害」とか、
「積算雨量」についてお話ししました。

今回は、豪雨の際の
避難についてお話しします。



【補足】
Yahoo! の河川水位情報は、
主だった川の情報のみの掲載です。

中小河川の情報については
気象庁の危険度分布で
調べることができます。

気象庁→防災情報→洪水警報の危険度分布。



情報の正しい意味・目的を知ろう



大雨や台風が来ると、
避難勧告や、避難指示など、
行政からいろいろな情報が出ます。

みなさんはその時に、
「いつ逃げるか？」を
決めていらっしゃいますか？



避難開始と言われても、

その時点で避難する人は
非常に少ないんです。

避難準備とか言われても、
「準備だから、
今から袋を用意して袋詰めから。」
みたいな感じで。



高齢者等避難開始



たとえば雨がたくさん降って
大雨に関する注意報が出た後に

避難準備や
高齢者等避難開始というような
情報が出ます。

これは、
その段階で
「高齢者の人は、避難を開始してください。」
というご案内です。

そうでないと、
逃げるのが困難になるからです。





避難勧告

勧告というのは、「お勧め」ということなので、

避難勧告が出た時には、
逃げてほしいんです。

実際には
西日本の豪雨のあとでも、

「避難指示まで、
待たないといけないのかなと思った。」

というような声が、
報告書に上がっていました。

避難指示が出てから逃げる。と、
ギリギリ我慢してる方が多いのです。



避難指示



気象庁が出している
危険度分布の説明では、

たとえば土砂災害についての
「避難指示」というのは、

避難を完了している段階
と書いてあるんです。



もう避難が終わっている段階。

避難が終わっていないなければならない時点でも、
家の中に残ってしまった人は、

もう、どうしようもありません。

家の2階の、
斜面の反対側に行く(垂直避難)
くらいしか逃げ場が無い！

というような、
もう、ぎりぎりの状況だと思ってください。

だから実際は、
早めに逃げなきゃいけない。



国民気質

早めに逃げろと言われても
みなさんやっぱり、
なかなか逃げません。



避難に関しては、
アメリカとの対比がよく言われます。

アメリカでは、
ハリケーンが来るから、
300万人逃げろ！と言われてたら、

600万人くらい逃げる。
といった、
過剰避難が問題になってたりしています。



アメリカは、
自分で考えて自分で行動する国。

ということで、
なんとなくわかると思います。





台湾も
過剰避難が問題になっています。

台湾はなぜ？ と思い、
取材に行って聞いてみました。

台湾の人たちは、

「国に言われたら、ぜったい逃げる。」と、
おっしゃっていました。



隣は何を…？

日本では、
行政が勧告や指示を出しても、
ほとんどの人が逃げません。

自分で考えても行動しません。

という事で、
多くの人が逃げられませんでした。

行動を起こすポイントは、
何だったのでしょうか？

隣の人が逃げなかったから、逃げなかった。
隣の人が逃げたから逃げた。

などと、周りを見て判断していたのです。

親戚に言われたから逃げた。
というような方もいらっしゃいました。



臨機応変の対応を！

高齢者等避難という時に、
中学生が避難したら、

「高齢者じゃないからダメだろう」。
などと言われ、追い返された。

という話を聞きました。

その時の規則や言葉に、
正確に従おうとして

臨機応変に対応できない。
ということも指摘されています。



早期避難



東京都の江東5区(※1)
と言われる地域は、
海拔0m地帯などが多いので、

「台風が来る3日前から避難しなさい。」
とされています。

(※1)
墨田区・江東区・足立区・葛飾区・江戸川区。
大規模水害によって浸水する可能性がある区域。
約250万人が居住。

海拔0m以下や、荒川・江戸川・隅田川などの
大河川やその支川が多く集まる、
東京東部低地帯。





伊勢湾台風(※2)と
同じくらいの台風が襲来したら、

マンションの3階まで浸水する。



その後、水が引くまで2週間続く。

と、予想されているからです。

一時、4階以上に逃げてもダメです。

(※2)

1959年(昭和34年)9月26日、
紀伊半島先端に上陸した台風15号。
犠牲者は、河川の氾濫や高潮によって
愛知・三重の2県に集中した。
「災害対策基本法」制定の契機となるなど、
防災対策の原点となった。



3日前避難の理由



台風の前(72時間前)って、
たぶん晴れているかもしれません。

「そんなにも早く、逃げろ！」
とされています。

なぜか？ というと

危険な化学物質等が、
流失したりする
可能性があるからです。





例えば過去に、

ニューヨークでは
ナトリウムが水と反応して爆発が起こった。
とか、

高知でメッキ工場の青酸カリが流れた。
という事件が1990年代に起こりました。

浸水したその場に留まるのは、
必ずしも安全ではありません。

トイレも電気も使えなくなります。

ですので、
「本当に早く逃げろ！」
とされています



避難するための時間割

東京都が、
「マイ・タイムラインシート」というもの
を作りました。

みなさんの手で、
みなさん自身の「防災行動計画」を
作るという物です。

東京都 マイ・タイムライン で、
検索してみてください。

PDFをダウンロードして、
作成できるようになっています。





6月中旬には、
デジタル版が配信されます。

マイ・タイムラインが
スマートフォンやパソコン上で
作成できます。

都内のすべての
児童・生徒さんたちには、

冊子が配布されます。

ぜひ注目してみてくださいねと思います。



作ってみよう マイ・タイムライン



マイ・タイムラインを見れば、
判断の決め手に役立ちます。

何時の段階で逃げようとか、
うちは高齢者がいる。
身体の不自由な子どもがいる。

→ 早めに逃げよう！

などと、
家族で相談しながら、
作ってみてください。





災害時の「防災行動」チェックリストで

対応の漏れを防止したり、
行動シールを時間軸に貼るなどして、

みなさんそれぞれの
避難対策を作ることができます。



いざという時に
避難のタイミングを逃さぬように。

大事なことは、
「自分の命は自分で守る」という意識です。



ブラック校則募集



高齢者等避難という時に、
中学生が避難したら、追い返された。
という話をしました。

規則が厳しすぎて、
学校側はそれを守る事ばかりに気を取られ、
臨機応変に対応できない。
というような事を見聞きます。



皆さんの通う学校や、卒業した学校にも、
厳しかったり、ハテナ？ な、
変わった校則がありませんか？

こんな校則があります。
あった！ という方は、
ぜひ教えていただければと思います。

お聞きの放送局、FM西東京のホームページに、
メッセージフォームがあります。

こちらからお気軽にメッセージを
お寄せいただければと思います。



TEXT/はしも